

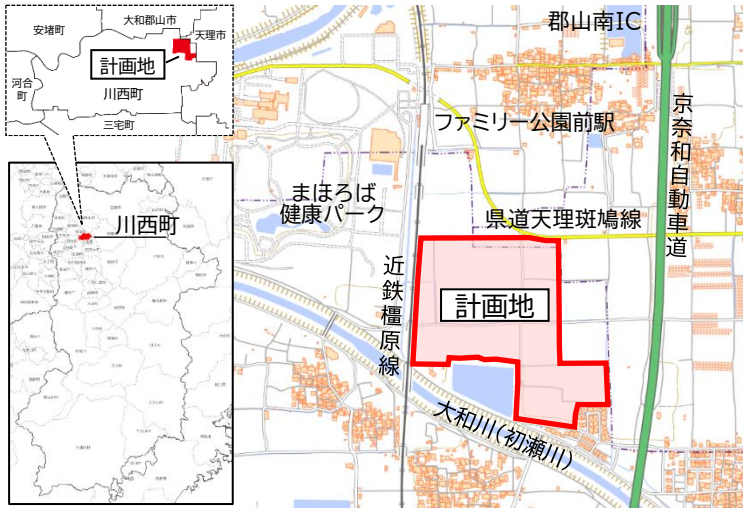
川西町県有地活用基本構想 << 概要 >>

1 計画地の概要

■位置・地勢

磯城郡川西町の北東に位置し、東は農地を挟んで京奈和自動車道（大和御所道路）、西は近鉄橿原線、南は大和川（初瀬川）、北は県道天理斑鳩線に囲まれたエリアで、面積は約 15ha です。

近鉄橿原線のファミリー公園前駅や京奈和自動車道の郡山南 IC、西名阪自動車道の大和まほろば SIC から近く、近鉄橿原線を挟んでまほろば健康パークと隣接しています。



[出典：地理院タイル (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>) に加筆]

2 活用に向けた考え方

■経緯

隣接するまほろば健康パークとの連携を念頭に、「子どもを中心に多様な交流が生まれるまち KAWANISHI」をテーマに「地域のスポーツの振興にも資する世界的スポーツチームの関連拠点の誘致」及び「地域の活性化につながり、子どもたちも楽しめる企業の誘致」を基本方針として検討を行ってきました。

■まほろば健康パークとの連携

隣接するまほろば健康パークにおいて、公園区域の拡張も含めた「まほろば健康パーク基本計画」が令和7年3月に策定され、その内容も踏まえて連携を図っていきます。

■関連計画

国の「第3期スポーツ基本計画」及び奈良県の「第2期スポーツ推進計画」では、「スポーツによる地方創生、まちづくり」や「スポーツ人材の育成」といった目標が掲げられています。また、奈良県の「大和都市計画及び吉野三町都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（都市計画区域マスタープラン）」では、交通利便性の高い地域において工業・流通業務施設又は商業施設等の立地を図るなど企業誘致を進めることとしています。

第3期スポーツ基本計画（令和4年3月 文部科学省）	第2期奈良県スポーツ推進計画（令和5年3月 奈良県）
＜今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策＞ （3）国際競技力の向上 （6）スポーツの成長産業化 （7）スポーツによる地方創生、まちづくり	＜スポーツ振興の3つの柱＞ （2）スポーツの推進を支える人材の育成（人を育てる） （3）スポーツに親しめる環境づくりと地域の交流促進及び地域の活性化（活動の場をつくる）

3 基本方針① 地域のスポーツの振興にも資する世界的スポーツチームの関連拠点の誘致

地域のスポーツの振興にも資する
世界的スポーツチームの関連拠点の誘致

- 世界に羽ばたくアスリートを輩出する拠点の誘致
- 国内はもとより世界各地のチームが強化試合や大会を通じた県内での滞在（宿泊を伴うスポーツツーリズム）
- 地域の子どもたちやチームとの連携によるスポーツの裾野の拡大
- 留学生と地元の学校・地域との交流（スポーツを軸とした国際交流の促進）

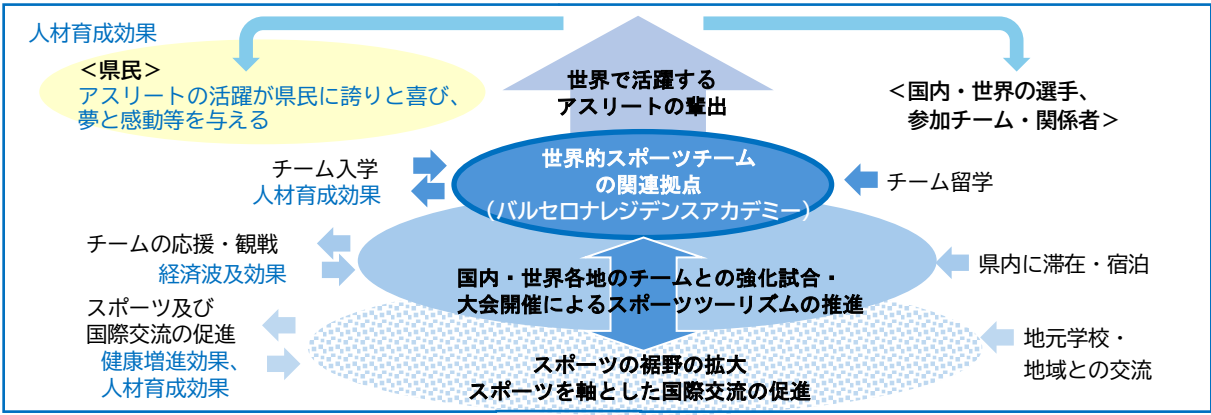
■対象競技の検討

スポーツ競技の中でも、チーム競技は各地域にクラブの本拠地が置かれ、地域に密着した活動が行われており、特にプロスポーツのチーム競技は地域のスポーツ振興やスポーツツーリズムに与える影響が大きいと考えられています。

主なプロスポーツのチーム競技である野球（NPB）、サッカー（Jリーグ）、バスケットボール（Bリーグ）の内、球団数が限定され拠点の新設や誘致が難しいNPBを除くJリーグとBリーグについて比較すると、1試合平均入場者数や市場規模等の点でサッカーが上回っています。

■バルセロナレジデンスアカデミーの誘致

FCバルセロナはサッカーを通じた人材育成を行うアカデミー事業を世界的に展開しており、バルセロナレジデンスアカデミーが誘致されることにより、スポーツの裾野の拡大やスポーツを軸とした国際交流の促進といった効果が期待され、計画地の活用テーマに合致していることから、計画地への誘致に取り組みます。



4 基本方針② 地域の活性化につながり、子どもたちも楽しめる企業の誘致

スポーツ関連拠点やまほろば健康パークとの親和性も念頭に、商業施設や飲食店、スポーツ関連企業も含め、地域全体の賑わい創出に前向きな事業者の誘致に取り組みます。

5 土地利用計画

計画地の活用テーマである「子どもを中心に多様な交流が生まれるまち KAWANISHI」の実現に向け、バルセロナレジデンスアカデミーの誘致を目指すスポーツゾーンと、地域全体の賑わい創出にも資する企業誘致ゾーンの整備を両輪として取り組みます。

①スポーツゾーン

次世代アスリートの育成は重要であることから、第2期奈良県スポーツ推進計画において、民間事業者と連携したジュニアタレントの発掘・育成、強化支援を進めることとしており、計画地においては、地域との密着性や市場規模、国内の競技・ファン人口等を比較した結果、サッカーを中心とした支援を実施します。
この計画を推進する手段の一つとして、トップアスリートの人材育成機関が必要との考えのもと、バルセロナレジデンスアカデミーの誘致を目指します。

②企業誘致ゾーン

計画地における企業誘致については、スポーツゾーンやまほろば健康パークとの親和性も念頭に、商業施設や飲食店、スポーツ関連企業も含めた地域全体の賑わいの創出に前向きな企業の立地を促進します。

6 スポーツゾーンにおける施設構成案

土地利用計画を実現するためのスポーツゾーンにおける導入機能について、以下のとおり整理します。

施設分類	導入機能（案）	導入理由	想定利用者			
			アスリート・チーム関係者	地域住民・子ども等	まほろば健康パーク利用者	施設管理者
スポーツ 関連拠点 施設	サッカー専用グラウンド（天然芝）・多目的グラウンド（人工芝）	・世界に羽ばたくアスリートの輩出拠点 ・国内外のスポーツチームをターゲットとした宿泊を伴うスポーツツーリズム拠点 ・地域の子どもやスポーツチームとの連携拠点 ・スポーツによる国際交流拠点	●	●		
	クラブハウス	同上 （更衣室、シャワー室、ミーティング室等を備えた施設）	●	●		
	防球フェンス・ナイター照明	サッカー専用グラウンド（天然芝）及び多目的グラウンド（人工芝）の利用に必要な施設環境設備	●	●		
	管理センター	事務室、休憩室、器具庫等を備えた施設	●	●		●
その他 附帯施設	多目的広場	様々なイベントが実施可能な広場	●	●	●	
	駐車場	スポーツゾーン利用者が駐車可能な駐車場	●	●		●
民間整備 施設	宿泊施設	長期利用者や大会参加者等が利用可能な宿泊施設	●	●	●	●
	商業施設	物販や飲食が可能な商業施設	●	●	●	●

7 イメージパース



8 事業手法に関する検討

公共施設の整備・管理運営の手法（事業手法）としては、公共が整備から管理運営までを行う「公設公営」方式、公共が整備し、民間が管理運営を行う「公設民営」方式（指定管理等）、民間が整備し、公共が管理運営を行う「民設公営」方式、民間が整備から管理運営までを行う「民設民営」方式（PFI 事業、定期借地権方式等）があります。
4つの方式の中にも多数手法があり、今後、様々な条件を整理した上で事業手法を決定します。

9 事業スケジュール

項目	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)	2028年度 (R10年度)	2029年度 (R11年度)	2030年度 (R12年度)	2031年度 (R13年度)	2032年度 (R14年度)
スポーツ ゾーン	基本計画	土木設計・工事				スポーツゾーン(グラウンド等) 整備		スポーツゾーン 開業・施設運営
		クラブハウス建築設計・工事						
企業誘致 ゾーン		地区外整備						
		土木設計・工事						